

外国語

外国語活動

1 1 月 1 4 日 (金)

	学級	授業者	单元名・題材名
公開授業 1 13:00～	4 年 2 組	長瀬 健太	Unit8 This is my favorite place.
	6 年 2 組	石坂 稜太	Unit7 I want to be a fashion designer.
公開授業 2 14:00～	5 年 3 組	下屋 湧泉	Unit5 This is my sister.

指導と評価の計画

単元名

第4学年 Let's Try!2

Unit8 This is my favorite place.

重点となる領域

「話すこと[やり取り]」ウ

「聞くこと」イ

1 「話すこと[やり取り]」における第4学年の目標

サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり質問に答えたりすることができる。

「聞くこと」における第4学年の目標

ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かる。

2 単元の目標

仲間のことをくわしく知ったり自分のことを伝えたりするために、お気に入りの場所やその理由などについて、くわしく伝えたり、たずねたりすることができる。

3 単元の評価規準

「話すこと[やり取り]」ウ

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・お気に入りの場所やその理由などの言い方を正しく理解している。 ・お気に入りの場所やその理由を表す表現を用いて、自分のお気に入りの場所を伝える技能を身につけている。	・仲間のことをくわしく知ったり自分のことを伝えたりするために、お気に入りの場所やその理由などについて、くわしく伝えたり、たずねたりしている。	・仲間のことをくわしく知ったり自分のことを伝えたりするために、お気に入りの場所やその理由などについて、くわしく伝えたり、たずねたりしようとしている。

「聞くこと」イ

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・お気に入りの場所やその理由などの言い方を聞くことに慣れ親しんでいる。	・仲間のことをくわしく知るために、お気に入りの場所やその理由などについての話を聞いて意味が分かっている。	・興味をもって、Who am I?クイズに答えるための情報を聞き取ろうとしている。

4 展開案を含む指導計画

時間	主な言語活動	備考	知	思	態
1	■単元の目標を理解するとともに、単元末に行う活動に対して見通しをもち、教室名を表す英語の表現を理解することができる。 ①Warm up (Chant、Small Talk、Game time) ②JTE と ALT のお気に入りの場所についてのやり取りを聞き、単元末の活動の見通しをもつ。 いろいろな教室の言い方を知ろう。 ③学校クイズ ④ポインティングゲームやキーワードゲームを行い、教室名を確認する。 ⑤振り返りを行う。	・②において、JTE と ALT のやり取りから、目的・場面・状況を明確にし、単元末の活動や本時の課題を設定する。	記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して児童の活動の状況を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。		
2	■北小学校の教室を案内するクイズを行い、道案内するための表現を理解することができる。 ①Warm up (Chant、Small Talk、Game time) ②JTE や ALT とのやり取りから活動の見通しをもち、本時の課題をつかむ。 道案内の言い方を知ろう。 ③Let' s Listen ④クイズを行い、道案内の言い方を確認する。 ⑤振り返りを行う。	・③において、お気に入りの場所の言い方を確かめる。 ・④において、ALT の道案内を聞いて北小学校のどの教室にたどり着くかを考えるクイズを行う。			
3	■既習表現を用いて道案内する活動を行い、自分のお気に入りの場所を伝えることができる。 ①Warm up (Chant、Small Talk、Game time) ②JTE や ALT とのやり取りから活動の見通しをもち、本時の課題をつかむ。 自分のお気に入りの場所に案内しよう。 ③Let' s Watch and Think 2 ④自分のお気に入りの場所まで道案内する。 ⑤振り返りを行う。	・③において、世界と日本の学校生活の共通点や相違点を確認し、学校生活の多様さに気づけるようにする。 ◆④において、タブレットの資料をいつでも使用できるようにすることで、それぞれの児童が自分の伝えたい内容を表現するための手立てとする。			
4 (本時)	■Who am I?クイズを楽しむためには仲間のことを知ったり自分のことを知ってもらったりすることが必要だと考え、既習表現を用いて、お気に入りの場所についてくわしく伝えたり、たずねたりすることができる。 ①Warm up (Chant、Small Talk、Game time) ②JTE とのやり取りから活動の見通しをもち、本時の課題をつかむ。 Who am I?クイズを楽しむために、お気に入りの場所をたずね合おう。 ③お気に入りの場所やくわしい情報を伝え合う。 ④Who am I?クイズに答える。 ⑤振り返りを行う。	・③において、対話の視点を示し、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせることができるようにする。 ◆③において、タブレットの資料をいつでも使用できるようにすることで、それぞれの児童が自分の伝えたい内容を表現するための手立てとする。 ・④において、クイズの答えを一人一人がタブレットのワークシートに記入する。	○	○	○

■ 教科：外国語活動	■ 単元名：Unit8 This is my favorite place. (4 / 4)
■ 授業者：長瀬 健太	■ 授業学級：4年2組 (北舎3階 4年2組教室)
■ 本時の「ねらい」 Who am I?クイズを楽しむためには仲間のことを知ったり自分のことを知ってもらったりすることが必要だと考え、既習表現を用いて、お気に入りの場所についてくわしく伝えたり、たずねたりすることができる。 【知識・技能／思考・判断・表現／主体的に学習に取り組む態度】	
■ 本単元で働かせる見方・考え方 【見方・考え方】目的：仲間ともっと仲良くなるために だれに：仲間に 何を：お気に入りの場所を どうする：たずね合って伝える	
時間	●学習活動 ・児童の姿 「ねらい」にせまるための手立て
0 帯活動 10 課題化 15 対話 40 高まりの表出 45	● Warm up (Chant、 Small Talk、 Game time) ● Today' s aim - JTE が出す Who am I?クイズに答える。「My favorite place is the gym.」という少ない情報では、当てはまる仲間が多くクイズに答えられないモデルを JTE が示し、課題をつかむ。 Who am I?クイズを楽しむために、お気に入りの場所をたずね合おう。 ● Activity ⇄ Sharing Time - コミュニケーションを行う目的・場面・状況に応じ、伝えたい内容と伝えるための英語表現を考え、実際に外国語を用いたコミュニケーションを行う。 A : What is your favorite place? B : My favorite place is the <u>gym</u>. → A : What is your favorite place? B : My favorite place is the <u>gym</u>. I like <u>P.E.</u> A : What <u>sport</u> do you like? B : I like <u>basketball</u>. ● Who am I?クイズに自分が集めた情報をもとに答える。 ● Evaluation - ワークシートを使って、コミュニケーションを行う目的の達成状況を内容面と表現面から振り返り、自分の高まりを自覚する。 【目指す子どもの姿(評価)】 「Why?」を使って仲間にくわしくたずねたり、「I like ～.」を使って自分のことをくわしく伝えたりすることができたよ。だから、Who am I?クイズでたくさん正解できて楽しかったよ。 ◇研究内容1：「個別最適な学び」 - 目的達成に向け、個の意識に応じて自由に追究方法を選択できるようにする。 - 仲間とのコミュニケーションを通じて、児童が多様な考えに触れ、自分の考えを広げられるように、子どもの対話をファシリテートする。 ◇研究内容2：「協働的な学び」 - 対話の視点を示すことで、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせながら追究することができるようにする。 【対話の視点】仲間ともっとくわしく伝え合おう。 - Sharing time では、仲間とくわしく伝え合うために、どんなことをどんな表現で伝えたりたずねたりしたらよいかを想起させ、共有する。(「Why?」、「What ～ do you like?」、「Basketball? Dodgeball?」、「I like basketball. How about you?」) - 目的達成に向けて自分が工夫したことを、ペアで伝え合う場を設定することで、自己の高まりを実感できるようにする。 板書計画 

指導と評価の計画

単元名

第6学年 Blue Sky elementary6

Unit7 I want to be a fashion designer.

重点となる領域

「話すこと[発表]」ウ

「書くこと」イ

1 「話すこと[発表]」における第6学年の目標

小学校の思い出や将来の夢、中学校での目標などについて、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。

「書くこと」における第6学年の目標

自分の憧れの人や将来の夢、中学校での目標などについて、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。

2 単元の目標

ALT に自分のことを知ってもらうために、将来の夢とその理由について、自分の得意なことや好きなことなどを踏まえて発表することができる。

3 単元の評価規準

「話すこと[発表]」ウ

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・将来つきたい職業やその理由を伝える表現について正しく理解している。 ・将来つきたい職業やその理由を伝える表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝える技能を身につけている。	・ALT に自分のことを知ってもらうために、将来の夢とその理由について、自分の得意なことや好きなことなどを踏まえて発表している。	・ALT に自分のことを知ってもらうために、将来の夢とその理由について、自分の得意なことや好きなことなどを踏まえて発表しようとしている。

「書くこと」イ

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・音声で十分に慣れ親しんだ、将来つきたい職業やその理由を表す文について、その文構造を理解している。 ・将来つきたい職業やその理由を、語順を意識しながら、文を書くときのルールに沿って書き写す技能を身につけている。	・自分の将来の夢を記録に残すために、つきたい職業やその理由について、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を書き写し、自分のことを表現している。	・自分の将来の夢を記録に残すために、つきたい職業やその理由について、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を書き写し、自分のことを表現しようとしている。

4 展開案を含む指導計画

時間	主な言語活動	備考	知	思	態
1 (本時)	■日本の子どもたちの夢を知りたいというALTの願いを聞き、自分の夢を知ってもらうためには、将来つきたい職業やその理由を伝えればよいと考え、単元末の活動への見通しをもつことができる。 ① Today's aim Unit7で学習することの見通しをもとう。 ②JTEとALTのやり取り(職業クイズや教師の話)から、単元の課題を設定する。 ③本単元の目的を達成するために、自分が伝えたい内容や使いたい表現を考える。考えたことを全体で共有し、「Unit7 ロードマップ」を作成する。 【Unit7 ロードマップ】 □つきたい職業(I want to be a ~.) □理由 ・できること(I can ~.) ・得意なこと(I'm good at ~.) ・好きなこと(I like ~./ My favorite ~ is ...) ・とくちょう(I'm ~.) ・したいこと(I want to ~.) ・努力していること(I play ~ every day.) など ④つきたい職業についてペアで伝え合う。 ⑤振り返りを行う。	・それぞれの児童の興味・関心・キャリア形成の方向性に応じて自分の考えや気持ちなどを伝えることができる単元のゴールを設定する。 ・①において、コミュニケーションを行う目的や場面、状況を理解することができるよう、必要な情報を捉えやすくするための聞き取りの視点を、対話の視点として提示する。	記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して児童の活動の状況を確認に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけに		
2	■仲間と将来つきたい職業についてたずね合うことができる。 ①Small Talk：人物3ヒントクイズ ②JTEとALTのやり取りから本時の課題を確かめる。 将来つきたい職業をたずね合おう。 ③Listen and DoとChantを行い、将来つきたい職業をたずね合う表現を理解する。 ④仲間と将来つきたい職業をたずね合う。 ⑤振り返りを行う。	・④において、必要に応じて中間交流を行う。(本時は表現面に目を向け、正確さに焦点を当てた中間交流を行う。) ◆④において、タブレットの資料をいつでも使用できるようにすることで、それぞれの児童が、自分の伝えたい内容を表現するための手立てとする。また、録画や録音機能を使用し、自分の発話を確認できるようにすることで、児童が自分の考えを再構築するための手立てとする。			
3	■ALTに自分の将来の夢を伝える単元末の活動に向けて必要な表現を学ぶ中で、JTEやALTとのやり取りから将来つきたい職業の理由を伝えることができる既習の表現に気づき、それを正しく用いて将来つきたい職業とその理由を伝えることができる。 ①Small Talk：人物3ヒントクイズ ②JTEとALTのやり取りから本時の課題を確かめる。 将来つきたい職業とその理由を言ってみよう。 ③Listen and Do①とChantを行い、将来つきたい職業とその理由を伝える表現を理解する。 ④同じグループの仲間と将来つきたい職業とその理由をたずね合う。 ⑤振り返りを行う。	・④において、必要に応じて中間交流を行う。(本時は表現面に目を向け、正確さに焦点を当てた中間交流を行う。) ◆④において、タブレットの資料をいつでも使用できるようにすることで、それぞれの児童が、自分の伝えたい内容を表現するための手立てとする。また、録画や録音機能を使用し、自分の発話を確認できるようにすることで、児童が自分の考えを再構築するための手立てとする。			

4	■既習表現を用いて、仲間と将来つきたい職業とその理由についてたずね合うことができる。 ①Small Talk：人物3ヒントクイズ ②JTEとALTのやり取りから本時の課題を確かめる。 将来つきたい職業とその理由をたずね合おう。 ③Listen and Do②とChantを行い、将来つきたい職業とその理由を伝える表現を確認する。 ④仲間と将来つきたい職業とその理由をたずね合う。 ・個人で考えをまとめる→仲間と対話する→自分の考えを再構築する ⑤振り返りを行う。	・④において、必要に応じて中間交流を行う。(本時は内容面に目を向け、相手意識のある内容に焦点を当てた中間交流を行う。) ◆④において、タブレットの資料をいつでも使用できるようにすることで、それぞれの児童が、自分の伝えたい内容を表現するための手立てとする。また、録画や録音機能を使用し、自分の発話を確認できるようにすることで、児童が自分の考えを再構築するための手立てとする。	記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して児童の活動の状況を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。		
5	■相手に自分のことを知ってもらうためにはどんな発表にすればよいかを考え、伝えようとする内容を整理した上で、ALTに自分の将来の夢を発表することができる。 ①Small Talk：人物3ヒントクイズ ②本時の課題を確かめる。 ALTに将来の夢を発表しよう。 ③クラスの仲間と互いの発表について助言し合い、発表内容をよりよくする。 【全員が到達する内容】 I want to be a soccer player. I like soccer. I'm good at playing soccer. I want to be famous. 【さらに挑戦する内容】 I want to be a soccer player. I play soccer every day. I'm good at dribbling. I can run fast. My favorite soccer player is Kaoru Mitoma. I want to win the World Cup. ④発表動画を撮影する。 ⑤振り返りを行う。	・③において、必要に応じて中間交流を行う。(本時は内容面に目を向け、相手意識のある内容に焦点を当てた中間交流を行う。) ◆③において、タブレットの資料をいつでも使用できるようにすることで、それぞれの児童が、自分の伝えたい内容を表現するための手立てとする。また、録画や録音機能を使用し、自分の発話を確認できるようにすることで、児童が自分の考えを再構築するための手立てとする。	○	○	○
6	■自分の発表動画を見て、教科書の例文を参考にしながら発表した内容を英語で書くことができる。 ①Small Talk：人物3ヒントクイズ ②本時の課題を確かめる。 自分の発表を英語で書いてみよう。 ③発表動画で話したことを英語で書く。 ④仲間と③で書いた将来の夢を読み合う。 ⑤振り返りを行う。	◆③において、タブレットの資料をいつでも使用できるようにすることで、それぞれの児童が自分の伝えたい内容を表現するための手立てとする。	○	○	○

■ 教 科：外国語科		■ 単 元 名：Unit7 I want to be a fashion designer. （1／6）	
■ 授業者：石坂 稜太 ALT：Haley Butler		■ 授業学級：6年2組 （北舎4階 6年2組教室）	
■ 本時の「ねらい」 日本の子どもたちの夢を知りたいという ALT の願いを聞き、自分の夢を知ってもらうためには、将来つきたい職業やその理由を伝えればよいと考え、単元末の活動への見通しをもつことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】			
■ 本単元で働かせる見方・考え方 【見方・考え方】 <u>目的</u> ：自分のことを知ってもらうために <u>だれに</u> ：ALT に <u>何を</u> ：将来の夢を <u>どうする</u> ：発表する			
時間	●学習活動 ・ 児童の姿		「ねらい」にせまるための手立て
0 導入・課題化 15 見通す 25 対話 40 高まりの表出 45	● Today's aim Unit7 で学習することの見通しをもとう。 ● Introduction ・ JTE と ALT のやり取り（職業クイズや教師の話）から、単元の課題を設定する。 単元のゴール：自分のことを知ってもらうために、ALT に将来の夢について発表しよう。 ● Think ・ 本単元の目的を達成するために、自分が伝えたい内容や使いたい表現を考える。 ・ 考えたことを全体で共有し、「Unit7 ロードマップ」を作成する。 ● Activity ・ つきたい職業の言い方を知る。 ・ ペアでつきたい職業について伝え合う。 A：I want to be a soccer player. How about you? B：Nice. I want to be a doctor. A：That's nice! ● Evaluation ・ コミュニケーションを行う目的の達成状況を振り返り、自分の高まりを自覚する。 【目指す子どもの姿（評価）】 単元のゴールに向けて、サッカー選手という将来つきたい職業を伝えることができるようになったよ。自分のことをヘイリー先生にくわしく知ってもらうために、好きな選手やドリブルが得意なことを伝えられるようになりたいな。 【Unit7 ロードマップ】 ☐ つきたい職業 ☐ 理由 ・ できること ・ 得意なこと ・ 好きなこと ・ とくちょう ・ したいこと ・ 努力していること など		◇研究内容2：「協働的な学び」 ● 単元の導入において、コミュニケーションを行う目的や場面、状況を理解することができるよう、必要な情報を捉えやすくするための聞き取りの視点を、対話の視点として提示する。 【対話の視点】ヘイリー先生が知りたいことは何？ ◇研究内容1：「個別最適な学び」 ● それぞれの児童の興味・関心・キャリア形成の方向性に応じて自分の考えや気持ちなどを伝えることができる単元のゴールを設定する。 ● 目的達成に向け、個の意識に応じて自由に追究方法を選択できるようにする。 ・ ALT とのコミュニケーションを通じてホンモノに触れ、自分の考えが相手に伝わるのか試す。 ・ 分からない表現を JTE や ALT と確かめる。 板書計画

指導と評価の計画

単元名

第5学年 Blue Sky elementary5

Unit5 This is my sister.

重点となる領域

「話すこと[発表]」ア

「聞くこと」イ

1 「話すこと[発表]」における第5学年の目標

自分のことや身近な人物、また、食べたいものなどについて、伝える内容の順番を考えた上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。

「聞くこと」における第5学年の目標

ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近な人物、また、場所などについて、具体的な情報を聞き取ることができる。

2 単元の目標

ALT に自分の推し(好きな人物やキャラクター)の魅力を知ってもらうために、その人物やキャラクターの特徴、得意なことを踏まえて紹介することができる。

3 単元の評価規準

「話すこと[発表]」ア

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・人物の特徴や得意なことの言い方を正しく理解している。 ・好きな人物の特徴や得意なことを表す表現を用いて、好きな人物について詳しく伝える技能を身につけている。	・ALT に自分の推しの魅力を知ってもらうために、特徴や得意なことが伝わるように紹介している。	・ALT に自分の推しの魅力を知ってもらうために、特徴や得意なことが伝わるように紹介しようとしている。

「聞くこと」イ

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・家族のメンバーや得意なこと、特徴を表す表現について理解している。 ・他者の紹介を聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	・友達の推しについて理解するために、その推しの紹介文の中から、必要な情報を聞き取っている。	・友達の推しについて理解するために、その推しの紹介文の中から、必要な情報を聞き取ろうとしている。

4 展開案を含む指導計画

時間	主な言語活動	備考	知	思	態
1	■日本の子どもたちの推しを知りたいという ALT の願いを聞き、自分の推しの魅力を伝えるためには、キャラクターの特徴やできることなどを伝えればよいと考え、単元末への見通しをもつことができる。 ①JTE と ALT のやり取り（キャラクタークイズや教師の話）から、単元の課題を設定する。 ②本時の課題を確認する。 どんな人なのかを英語で伝えよう。 ③本単元の目的を達成するために、自分が伝えたい内容や使いたい表現を考える。考えたことを全体で共有し、「Unit5 ロードマップ」を作成する。 【Unit5 ロードマップ】 ☐とくちょう (kind, cool, smart, strong…) ☐できること (OO can ~.) ☐得意なこと (OO is good at ~.) ☐気持ち (I like OO.) ④関係性や特徴を表す言葉の言い方を確認する。 ⑤家族や友達を紹介し合う。 ⑥学習を振り返る。	・それぞれの児童の興味・関心・キャリア形成の方向性に応じて自分の考えや気持ちなどを伝えることができる単元のゴールを設定する。 ・①において、コミュニケーションを行う目的や場面、状況を理解することができるよう、必要な情報を捉えやすくするための聞き取りの視点を、対話の視点として提示する。 ・④において、コミュニケーション場面とつながるように、表現と合わせて単語を確認する。			
2	■身近な人物について紹介し合うことで、自分との関係性やその人物の特徴を表す表現を正しく用いることができる。 ①Small Talk：キャラクター3ヒントクイズを行う。 ②JTE と ALT のやり取りから本時の課題を確認する。 身近な人を紹介しよう。 ③関係性や特徴を伝える表現を確認する。 ④仲間と好きな人物についてたずね合う。 ⑤学習を振り返る。	・④において、必要に応じて中間交流を行う。（本時は表現面に目を向け、正確さに焦点を当てた中間交流を行う。） ◆④において、タブレットの資料をいつでも使用できるようにすることで、それぞれの児童が自分の伝えたい内容を表現するための手立てとする。			
3 (本時)	■ALT に自分の推しの魅力を伝える単元末の活動に向けて必要な表現を学ぶ中で、様々なキャラクターになりきって得意なことを話す ALT や JTE とのやり取りから be good at ~ が得意なことを伝える表現だと気づき、自分の得意なことを伝えることができる。 ①Small Talk：キャラクター3ヒントクイズを行う。 ②JTE や ALT とのやり取りから、本時学習する表現とその使用場面をつかみ、課題を設定する。 仲間と得意なことを伝え合おう。 ③教科書の Listen and Do に取り組む。 ④Chant などを行い繰り返し表現に触れる。 ⑤仲間と得意なことについて伝え合う。 ⑥学習を振り返る。	・②において、教師のやり取りを十分に見せ、本時の表現と使用場面を捉えられるようにする。 ・⑤において、必要に応じて中間交流を行う。（本時は表現面に目を向け、正確さに焦点を当てた中間交流を行う。）			

記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して児童の活動の状況を確認に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させて

4	■前時までの既習表現を用いて、仲間と得意なことをたずね合い、得た情報を班の仲間に伝えることができる。 ①Small Talk：キャラクター3ヒントクイズを行う。 仲間が得意なことを伝えよう。 ②相手に得意かどうかたずねる表現を確認する。 ③得意なことについて、仲間とたずね合う。 ④班の仲間に、友達の得意なことを伝える。 ⑤表現面、内容面で振り返り、単元末につなげる。	・②において、コミュニケーション場面とつながるように、表現と合わせて単語を確認する。 ◆③において、タブレットの資料をいつでも使用できるようにすることで、それぞれの児童が自分の伝えたい内容を表現するための手立てとする。 ・③、④において、必要に応じて中間交流を行う。（本時は表現面に目を向け、正確さに焦点を当てた中間交流を行う。）	○		
5	■推しについてALTが知りたいと思っていることを確認し、特徴や得意なことなどを伝えるために情報を整理する。 ①Small Talk：キャラクター3ヒントクイズを行う。 自分の推し紹介の準備をしよう。 ②既習の表現を確認する。 ③教科書の Watch and Do を聞き、考えを広げる。 ④自分の推し紹介のメモを作成する。	・③において、全体で意見を出し合う場面を設け、全員が自分の考えを確実にもてるようにする。		記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して児童の活動の状況を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。	
6	■ALT に自分の推しを知ってもらうために、特徴や得意なことなどの魅力が伝わるように紹介することができる。 ①Small Talk：キャラクター3ヒントクイズを行う。 ②ALT と JTE のやり取りから、本時行うコミュニケーションの目的・場面・状況を理解する。 自分の推しを紹介しよう。 ③自分の推しについて伝え合う。 【全員が到達する内容】 This is Nezuko. She is kind and cute. She is good at sleeping. I like her. 【さらに挑戦する内容】 My favorite character is Nezuko. Do you know her? She is a <i>Kimetsu</i> character. She is kind, cute, and strong. She is good at sleeping. She can run fast. I like her very much. Please watch the new <i>Kimetsu</i> movie. ④ALT に向けた紹介動画を撮影する。 ⑤単元の学びを振り返る。	・②において、目的・場面・状況を確認することで、見方・考え方が働くようにする。 ・③において、必要に応じて中間交流を行う。（本時は内容面に目を向け、相手意識のある内容に焦点を当てた中間交流を行う。） ◆③において、タブレットの資料をいつでも使用できるようにすることで、それぞれの児童が自分の伝えたい内容を表現するための手立てとする。	○	○	○

■ 教科：外国語科	■ 単元名：Unit5 This is my sister. (3 / 6)
■ 授業者：下屋 湧泉 ALT：Haley Butler	■ 授業学級：5年3組 (北舎4階 5年3組教室)
■ 本時の「ねらい」 ALTに自分の推しの魅力を伝える単元末の活動に向けて必要な表現を学ぶ中で、様々なキャラクターになりきって得意なことを話すALTやJTEとのやり取りから be good at ～が得意なことを伝える表現だと気づき、自分の得意なことを伝えることができる。 【知識・技能】 ■ 本単元で働かせる見方・考え方 【見方・考え方】<u>目的</u>：自分の推しの魅力を伝えるために <u>だれに</u>：ALTに <u>何を</u>：自分の推しを <u>どうする</u>：紹介する	
時間	●学習活動 ・児童の姿 「ねらい」にせまるための手立て
0 帯活動 5 課題化 20 練習 30 対話 40 高まりの表出 45	● Small talk：既習表現を用いて、キャラクター3ヒントクイズを行う。 ● Today's aim ・JTEやALTとのやり取りから、本時学習する表現とその使用場面をつかみ、課題を設定する。 仲間と得意なことを伝え合おう。 ● Listen and Do ・教科書の問題を行い、本時の表現を理解する。 ● Practice ・Chantやゲームを通して、本時の表現を正確に使えるように繰り返し練習する。 ● Activity ・本時習得した表現を用いて、仲間と得意なことについて伝え合う。 A: I'm good at <u>playing baseball</u>. How about you? B: Me, too. I'm good at <u>cooking</u>. A: Nice. ● Evaluation 【目指す子どもの姿（評価）】 自分の得意なことを伝えることができうれしかったな。I'm good at ～.を使えば得意なことを伝えられるんだ。これを使って、ヘイリー先生にも自分の推しの得意なことを伝えたいな。 ◇研究内容1：「個別最適な学び」 ● 目的達成に向け、個の意識に応じて自由に追究方法を選択できるようにする。 ・ ALTの音声収録されたタブレットを用いて表現や音声を確かめられるようにすることで、やり取りに自信をもって臨めるようにする。 ・ ALTとのコミュニケーションを通じてホンモノに触れ、自分の考えが相手に伝わるのか試すことができる場を設定する。 ◇研究内容2：「協働的な学び」 ● 対話の視点を示すことで、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせながら追究することができるようにする。 【対話の視点】正しく伝え合っているか。 ● 正確に伝え合うために、語順や発音が正確に使えているかという点や、確認するなどの聞き手の工夫について必要に応じて中間交流を行う。 板書計画 